

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第65回（通算第144回）定例会 会議録

- ◆日時：令和4年5月17日（火） PM7：10～8：15
◆場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
◆出席者：26名 +オンライン 3名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：10～20：15】

19：10～ 開 会

19：10～19：50 研 修

「認知症の人や家族が集う場所 認知症カフェ」
～白浜町の取組を学びましょう～

講師：白浜町地域包括支援センター

主任介護支援専門員 玉田 憲輝氏
事務員 坂本 美優氏

19：50～20：15 質疑応答

田辺圏域の市町のカフェの開催状況

20：15 閉 会

【研修内容】

●認知症カフェ

- ・「認知症カフェ」とは
認知症の方やその家族、介護・医療の専門職、地域の方など誰でも気軽に参加でき、「安心して過ごせる集いの場所」である。認知症に関する知識を有するスタッフが常駐することで、身近な場所で悩みや不安を相談することができる「窓口の役割」も担う。
- ・認知症カフェの設置状況（R03／3時点）
全国：7377カフェ（設置率87.2%）、県内：74カフェ（設置率80%） 年々増加中
- ・白浜町の認知症カフェ
令和元年6月からスタート。名称や実施内容は事業所が決定。
 - ・白浜地区：ぱる白浜
 - ・富田地区：ぬくもりの里・成華苑（R03～委託）
 - ・日置川地区：日置の郷

●認知症カフェ

- ・コロナ禍の活動状況について
感染予防のため、すべてのカフェを R02/3～5 まで休止。検温や消毒等予防対策を徹底したうえで白浜地区・日置川地区で再開。感染状況をみながら、事業所が運営の判断をしている。富田地区は現在も休止中。
- ・課題について
全体的に参加者が少なく、さらに認知症当事者及び家族の参加があまりない
参加者が固定されている
会場までの交通の便が不便（車がなければ難しい）
周知・広報不足（理由の一つに感染予防のため、広く周知できず）
「認知症」に対するマイナスイメージが根強く、声をかけても参加につながりにくい
- ・今後の展望について
新規参加者獲得のため、広報活動を強化
→町広報の掲載、各種団体への呼びかけ、イベント時にチラシ配布 など
出張型カフェの検討
→地域にある集まりの近くでの開催
「認知症」にとらわれず参加できる環境づくり
→認知症サポーター養成講座による正しい認知症の知識の獲得
地域の方が運営に携わる（チームオレンジへの発展を検討中）

●質疑応答

- ・認知症のひとを介護している家族の参加状況は？いろいろな相談ごとを聞くこともあるので、しっかり周知をして、相談できる体制にしてほしい。
→参加数は計上できていないが、参加者が少ない。
別の事業の家族の会への参加者も少なく、その事業は中止し、ほかの認知症施策に予算をまわした。さらなる周知に努めたい
認知症カフェに関係する事業所として、家族などに広報するがなかなか参加につながらない。
- ・田辺圏域の田辺市・みなべ町・上富田町・すさみ町の職員から各まちの取組を報告
→課題としていることはどのまちも同じ。内容などいろいろ考えているが、これでいいのかと思いつながらしている。
- ・「待つ姿勢」ではなく、積極的に参加してみてください。聞いてみて。

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒
- ・マスク着用
- ・換気
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和4年6月21日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：研修 未定